

番外編

留萌市が「環境保全度」都市ランキング上位にランクイン！

環境保全度の分野別ランキング

水質・下水対策 第10位

「河川などの水質測定の実施頻度」など、6つの指標で算出する「水質・下水対策分野」は、すべての指標で高得点を上げ、全国10位にランク。

順位	自治体名	順位	自治体名
1	札幌市	1	小浜市
1	千歳市	1	勝山市
1	清瀬市	1	上田市
1	綾瀬市	1	太宰府市
1	高岡市	10	留萌市

土壌汚染対策 第1位

「重金属類調査の実施頻度」と「同調査での環境基準達成率」を指標とする「土壌汚染対策分野」では全国の1位！道内唯一の上位ランクインです。

順位	自治体名	順位	自治体名
1	留萌市	1	座間市
1	東島市	1	多治見市
1	つくば市	1	豊橋市
1	習志野市	1	岡崎市
1	三鷹市	1	犬山市ほか6市

廃棄物対策 第5位

「一般廃棄物の1人当たりの排出量」と「一般廃棄物のリサイクル率」の2つを指標とする「廃棄物対策分野」では、堂々全国5位にランクイン！

順位	自治体名	順位	自治体名
1	富良野市	6	尾花沢市
2	宮若市	7	曾於市
3	北見市	8	小林市
4	志布志市	9	行方市
5	留萌市	10	鹿島市

調査票は平成19年10月に全国782市と東京23区(計805市区)の主に環境政策担当セクションに送付し、11月中旬までに460市と21区から有効回答を得ている。有効回答率は59.8%。(「日経グローバル」より)

日本経済新聞社が行った「全国都市のサステナブル(持続可能)度調査」の結果が、地域経営の専門情報誌「日経グローバル」に掲載され、留萌市が環境保全に関する分野で全国の上位にランクされました。

この調査は、全国の市区を対象に「環境保全度」「経済豊かさ度」「社会安定度」の3つの側面から調査を行い、個々の都市ごとに測定・評価したものです。

経 済豊かさ度は、財政力指数などの4指標の数値を偏差値化して算出しています。この分野は東京近郊や愛知県の都市が上位を占め、大都市圏の財政力の強さや都市と地方の経済格差が結果に表れているのではないのでしょうか。道内で100位以内に入っている都市はありませんでした。

社 会安定度は、人口100人当たりの就学児童数や高齢者数(高齢化率)を指標とする「人口構成分野」や「雇成分野」「医療サービス分野」「文化・余暇分野」など、7分野19指標の数値から算出しています。この分野は、完全失業率が低い都市など、公正・平等な社会システムが形成されている都市が上位に入っています。

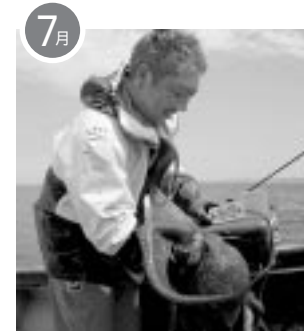
環 境保全度は、住民1人1日当たりの一般廃棄物排出量などを指標とする「廃棄物分野」のほか、「水質・下水分野」「土壌汚染分野」など、10分野48指標の数値から算出しています。この分野も大都市圏の財政力の強い都市が上位に入る傾向がうかがえる一方、留萌市のように財政力が弱くても善戦している地方の中小都市が見受けられます。

「サステナブルシティ」とは、これまで紹介した「環境」「経済」「社会」の3つのバランスをどうとりながらまちづくりを進めていくのかが、留萌市にとっても課題となるでしょう。

今回、すべての指標を集計したサステナブル度の総合評価において、留萌市は全国で195位、環境保全度は76位に入りました。

この調査結果は、環境に対する市民の意識の高さや継続した取り組みの成果の表れであり、私たちのまちの「光」の部分に気が付かせられました。一方で、経済的な発展や安定した社会づくりというまちの課題も浮き彫りになったのではないのでしょうか。

団塊世代の大量退職を機に、移住や地域間交流が増えることが予測されます。このようなデータが将来自分が住むまちを選ぶときの参考として使われる時代が来るのも、遠い話ではないかもしれませぬ。



7月 たこ箱オーナー制度 全国に大ブレイク

1箱5千円でオーナーの権利を買い、計6回の漁ごとに、捕獲したタコが自宅に届けられるというゲーム性が受け、全国から22,460件の応募があった。



7月 デザイン灯台 『波灯の女』完成

留萌港に完成した女性像のプロトタイプ製灯台。元木材業の山口外一さんの寄付を基に造られた。「波灯の女(はとうのひと)」は、留萌在住の堀井彩花さんが命名した。



10月 豪華客船『飛鳥』が留萌港に寄港 高橋市長を筆頭に盛大に歓迎セレモニー

国内最大の豪華客船「飛鳥」が留萌港に寄港。クルーズ終了後に実施した乗客アンケートでは、寄港地の中で留萌市が1番と高評価！特に印象に残ったものとして、「留萌高校プラスバンドの演奏」「留萌高校の船内茶席」「市長の出迎えと見送り」そして「出港時の夕陽」を挙げていた。



7月 るもいサウンドマーケット

遠くは釧路・千歳、近くは留萌管内や深川・秩父別のバンドが参加し、多くのスタッフの協力ですべて4回のステージを開催した。



10月 札幌留萌の会開催

留萌ゆかりの人たちでつくる「札幌留萌の会」が札幌市内のホテルで開かれ、会場に参集した約260人が親交を深めた。



8月 音物語

音を楽しむイベントを盛り上げようと、商店街を始め、市内各施設に風鈴を飾り、その音色から「音のある留萌の街」を演出した。



10月 船場公園供用一部開始

船場公園に造成したパークゴルフ場とドッグランが完成した。パークゴルフ場は、下水道浄化センターとあわせて18ホール。



8月 タイムカプセル開封

20年前に市内の小学5・6年生がタイムカプセルに納めた『るもいの未来』を題材した作文を当時の生徒約80名が開封した。



11月 まち灯り

街中のコミュニティーづくりを目指し、商工会議所青年部や市内企業などが協力し、十字街で市民参加型の祭りを実施した。



7月 木製『数の子オブジェ』

日本一の生産量を誇る留萌の数の子を売り込むため、青年会議所と千望高校生が9メートルの巨大な松の木で制作した。



11月 移動市長室を開催

高橋市長が市内25カ所を訪れ、市財政や病院経営などのまちの課題を説明、参加者からも地域の課題を聞き、情報を共有した。

B・Bが留萌にやって来た！

北海道日本ハムの球団マスコット「B・B(ブリスキー・ザ・ベアー)」が、12月13日、留萌市を訪れ、市内の幼稚園や保育園の園児たちと交流しました。この日は、清涼飲料水メーカーの人気キャラクター「Qoo(クー)」も登場し、園児たちは大喜び！初めて留萌市を訪れたB・Bに対し、高橋市長から「留萌の子供たちやファンにおおくの夢や希望・感動を与えてくれた」と感謝状が贈られました。「2008年も北海道日本ハムファイターズの応援よろしくをお願いします！」(B・B談)

